

CallManager の IPMA および PA の共存

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定 1： Cisco PA が着信メールを代行受信し Cisco IPMA に転送する](#)

[パーティション](#)

[コーリング サーチ スペース](#)

[デバイス設定](#)

[既知の問題](#)

[設定 2： IPMA が着信メールを代行受信し PA に転送する](#)

[パーティション](#)

[コーリング サーチ スペース](#)

[デバイス設定](#)

[既知の問題](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager 3.3(1) 以降での共存を可能にする、Cisco IP Manager Assistant (IPMA) および Cisco Personal Assistant (PA) の設定方法について説明します。Cisco CallManager 4.0 以降、「シェアド モード」が導入されています。これは、IPMA シェアドモードの IPMA ルート ポイント、コーリング サーチ スペース (CSS) /パーティションなどを必要としません。このドキュメントは、IPMA プロキシ モードにも適用されます。

IPMA と PA は、Cisco CallManager ソリューションの一部として共存できます。次の 2 つの設定が考えられます。

- **設定 1：** PA が回線の着信コールを代行受信し、IPMA がマネージャ回線にルーティングされたコールを代行受信します。
- **設定 2：** IPMA がマネージャ宛ての着信コールを代行受信します。IPMA によるコールのルーティング先の回線で PA がアクティブな場合、PA ルールが適用されます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.3(1) 以降
- PA 1.3(3) 以降

注: Cisco CallManager 4.0 以降、IPMA でシェアード モード設定がサポートされています。このドキュメントの内容は、IPMA のシェアード モード設定には適用されません。これは、IPMA ルートポイント、CSS/パーティションなどは IPMA シェアード モードには必要ないためです。このドキュメントは、IPMA プロキシ モードには適用されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定 1 : Cisco PA が着信メールを代行受信し Cisco IPMA に転送する

この設定は、PA がマネージャへのすべてのコールを処理できるようにするために使用されます。たとえば、月曜日から金曜日までの 8:00 am から 5:00 pm の間はコールを勤務先電話に送信することを指定した PA ルールが、マネージャに設定されているとします。マネージャが不在の場合 (応答がない場合など)、コールはマネージャの携帯電話に送信されます。その他の曜日と時間では、コールは携帯電話に転送されます。この場合、平日に受信したコールは、PA によりマネージャの勤務先電話に転送されます。次に IPMA がこの同じコールを代行受信し、そのマネージャのオンライン アシスタントが存在するかどうかを確認します。オンライン アシスタントが存在する場合は、IPMA はコールをアシスタントに送信します。IPMA は、IPMA DivAll ターゲットおよびフィルタリング ルールに基づいてその同じコールをその他の宛先にも転送できます。

すべてのコールは IPMA ルート ポイントを通過します。IPMA は IPMA マネージャの回線宛でのコールだけを代行受信します。

パーティション

- **IPMA-Managers** : このパーティションは、IPMA 用に管理されるマネージャの回線に割り当てます。この IPMA マネージャは PA ユーザの場合もあります。
- **IPMA-Route Point** : IPMA マネージャ回線への着信コールの代行受信に使用される IPMA ルート ポイント上の回線に、このパーティションを割り当てます。
- **PA - PA ユーザ宛での着信コールの代行受信のために PA により使用される CTI ルート ポイント上の回線に、このパーティションを割り当てます。**
- **PA-Managed** : PA を使用するすべてのユーザの回線にこのパーティションを割り当てます。
注: PA を使用するマネージャの IPMA マネージャ回線は、引き続き IPMA-Manager パーティションに割り当てる必要があります。
- **Everyone** : IPMA または PA のいずれも使用しないユーザの回線に、このパーティションを

割り当てます。

コーリング サーチ スペース

- **CSS-PA** : これは、IVR 機能に使用される PA インターセプタ ルート ポイントと PA ルート ポイントに割り当てられた CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。IPMA-Route PointPA-ManagedEveryone
- **IPMA Managers** : これは、IPMA ルート ポイントとアシスタント プロキシ回線に割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。IPMA-ManagersEveryone
- **CSS-IPMA-PA** : これは、IPMA、PA、またはこの両方がダウンしている場合に使用されるトランスレーション パターンに割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。IPMA-ManagersPA-ManagedEveryone
- **All_Calls** : これは、その他のすべての回線、ゲートウェイ、PBX などに割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。PAIPMA-Route PointEveryone

デバイス設定

CTI ルート ポイント	Partition	CSS
IPMA ルート ポイント	IPMA-Route Point	IPMA-Managers
PA ルート ポイント (代行受信用)	PA	CSS-PA
PA ルート ポイント (IVR 機能用)	Everyone	CSS-PA
トランスレーション パターン	Partition	CSS
(例 : 23xxx)	Everyone	CSS-IPMA-PA

注: トランスレーション パターンは、PA ルート ポイント DN および IPMA ルート ポイント DN の両方に一致する必要があります。DN が異なる場合は複数のトランスレーション パターンを使用できます。

回線	Partition	CSS
IPMA マネージャの回線 (PA サポートあり/なし)	IPMA-Managers	All_Calls
PA を必要とするその他のユーザ	PA-Managed	All_Calls
PA を必要としないユーザ	Everyone	All_Calls
PA のメディア ポート (Skinny)	Partition	CSS
PA のメディア ポート	Everyone	All_Calls

既知の問題

- PA から IPMA に転送され、IPMA によりアシスタントにリダイレクトされるコールの場合、IPMA Assistant Console のコール制御機能が機能しません。Cisco Bug ID [CSCdz65896](#) ([登録ユーザ専用](#)) で、PA と IPMA の共存に関する任意の転送の問題について説明し、この問題を追跡しています。
- アシスタントがプロキシ回線から IPMA マネージャにコールする場合、その IPMA マネージャの PA ルールは適用されません。
- アシスタントはプロキシ回線に対して PA ルールを設定できません。IPMA がマネージャのコールをアシスタントのプロキシ回線にリダイレクトする場合に、そのプロキシ回線で設定されている PA ルールはすべて実行されません。

設定 2 : IPMA が着信メールを代行受信し PA に転送する

この設定では、最初に IPMA がマネージャへのすべてのコールを処理できます。マネージャ宛でのコールがあると、IPMA はマネージャのフィルタリング/DivAll ルールを適用します。ルールの適用後、IPMA はコールを宛先番号に送信します。これは、マネージャまたはアシスタントのプロキシ回線、またはその他の宛先です。宛先番号が PA ユーザの番号の場合、PA はコールを代行受信してルールを適用します。すべてのコールは PA ルート ポイントを通過します。PA は PA ユーザ宛でのコールだけを代行受信します。アシスタントまたは別のターゲットが PA ユーザである場合もあります。

パーティション

- **IPMA-Managers** : PA を使用しない IPMA マネージャの回線にこのパーティションを割り当てます。
- **IPMA-Route Point** : IPMA マネージャ回線への着信コールの代行受信に使用される IPMA ルート ポイント上の回線に、このパーティションを割り当てます。
- **PA - PA** への着信コールの代行受信のために PA により使用されるルート ポイント上の回線に、このパーティションを割り当てます。
- **PA-Managed** : PA を使用するすべてのユーザの回線にこのパーティションを割り当てます。
注: このパーティションは、PA を使用するマネージャの IPMA マネージャ回線にも割り当てられます。
- **Everyone** : IPMA または PA のいずれも使用しないユーザの回線に、このパーティションを割り当てます。

コーリング サーチ スペース

- **IPMA Managers** : これは、IPMA ルート ポイントとアシスタント プロキシ回線に割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。PAIPMA-ManagersEveryone
- **CSS-PA** : これは、IVR 機能に使用される PA インターセプタ ルート ポイントと PA ルート ポイントに割り当てられた CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。PA-ManagedEveryone
- **CSS-IPMA-PA** : これは、IPMA、PA、またはこの両方がダウンしている場合に使用されるトランスレーション パターンに割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。IPMA-ManagersPA-ManagedEveryone
- **All_Calls** : これは、その他のすべての回線、ゲートウェイ、PBX などに割り当てられている CSS です。この CSS には、次のパーティションが示されている順序で含まれています。

デバイス設定

CTI ルート ポイント	Partition	CSS
IPMA ルート ポイント	IPMA-Route Point	IPMA-Managers
PA ルート ポイント (代行受信用)	PA	CSS-PA
PA ルート ポイント (IVR 機能用)	Everyone	CSS-PA
トランスレーション パターン	Partition	CSS
(例 : 23xxx)	Everyone	CSS-IPMA-PA
回線	Partition	CSS
IPMA マネージャの電話 (PA サポートなし)	IPMA-Managers	All_Calls
IPMA マネージャの電話 (PA サポートあり)	PA-Managed	All_Calls
PA を必要とするその他のすべてのユーザ	PA-Managed	All_Calls
PA を必要としないその他のすべてのユーザ	Everyone	All_Calls
PA のメディア ポート (Skinny)	Partition	CSS
PA のメディア ポート	Everyone	All_Calls

既知の問題

ユーザ (内部または外部) が PA 音声ポートにコールし、任意のユーザを求めると、PA は最初に PA ルールを処理してから、コールを宛先に転送します。たとえば、ユーザがコール発信し、IPMA マネージャを求めると、PA ルールだけがこのコールに適用されます。IPMA ルールは適用されません。この問題を解決するには、Cisco Bug ID [CSCdz65976](#) ([登録ユーザ専用](#)) を参照してください。この記事では、PA メディア ポートでコールを受信した場合に PA ルールを適用しないオプションについて説明しています。一方で、同じ発信者が IPMA マネージャに直接コールすると (マネージャのプライマリ DN)、適切に機能します。設定に従い、コールは最初に IPMA により処理され、次に PA により処理されます。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)